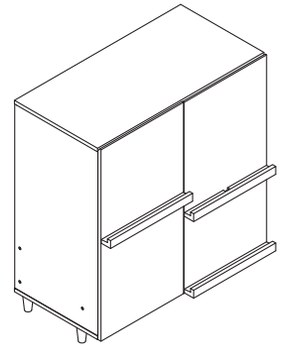
この度は当商品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に、この取扱・組立説明書を最後までお読みのうえ、正しい使い方で末永くご愛用ください。
なお、この説明書はいつまでもご覧いただけるように大切に保管いただきますようお願い申し上げます。



組み立て前に必ずよくお読みください。

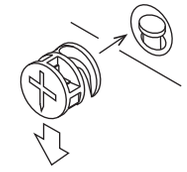
●ご準備いただくもの

・プラス(+)ドライバー（握り部分3cm以上）
・はさみ、またはカッターナイフ
・少し大きめのダンボール、またはやわらかい布（タオルや布団等）

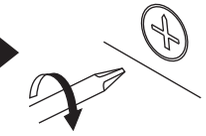
●組み立て時の注意

・必ず **説明書の順番通りに組み立ててください**。
順番を変えると、商品が破損したり、使用できない場合があります。
・安全に組み立てるために **２人以上で作業を行ってください**。
・組み立ては平らな場所で、**床などに傷がつかないように、ダンボールや柔らかい布等を敷いて**行ってください。
・部品は正確に取り付けてください。

●カムロック受けの取り付け方



カムロックネジとかみ合うようにカムロック受けを配置する。



プラスドライバーでカムロック受けを半回転まわして部品を固定する。

●次の部品や小物を使用する場合は、必ず下記の要領を守って正しく組立ててください。

ネジの締め方

最初は、ネジをゆるめに締めて組んでおき、最後に全体のバランスを見ながら、しっかりとネジを締め付けてください。

※右のマークを参照してください。

ネジをゆるめに仮止めする時

ネジをしっかりと締め付ける時

⚠ 使用上の注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

用途：室内用木製家具 用途以外の目的には使用しないでください。

●熱いものを長時間のせないでください。
●ぬれた場合はすぐ拭き取ってください。
●火気や暖房器具のそばでは使用しないでください。
火災や、やけど、製品の変形のおそれがあります。
●必ず水平で安定した場所に設置してください。
●乗る、ゆするなどの無理な力をかけないでください。
●移動する際は、必ず、載せているものを全て取り除いてから引きずらないよう持ち上げて移動してください。収納物や商品の転倒、破損、ケガの原因になります。
●必ず水平で安定した場所に設置してください。

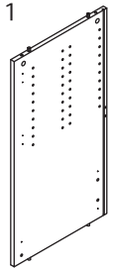
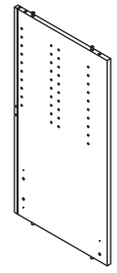
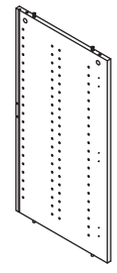
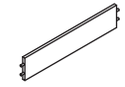
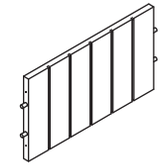
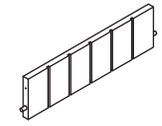
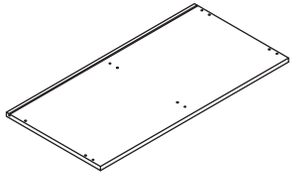
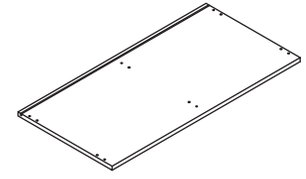
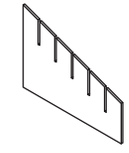
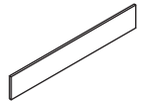
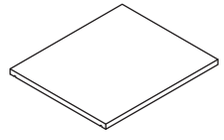
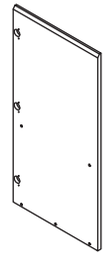
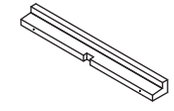
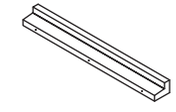
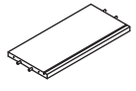
●腐食やカビ・変形・変色の原因となりますので、以下のことにご注意ください。
・直射日光の当たる場所や、高温多湿になる場所に長時間置かないでください。
・水分、油、洗剤などが付着した場合は、素早く拭き取ってください。
・シール、テープなどを貼らないでください。
●段ボール箱からの取り出しや組み立ては、2人以上で行ってください。
●天災などの不可抗力や、不当な修理・改造による事故・破損に対する補償は致しかねます。

点検・お手入れについて

●汚れをおとす際は、薄めた中性洗剤で拭いた後、固く絞った布等で完全に洗剤分を拭きとってください。
水分等が残りますと後が残るおそれがあります。
アルコール、ベンジン、漂白剤、みがき粉等は使用しないでください。
●ネジ類は、その取付けが確実かどうか、定期的に点検してください。

部品一覧

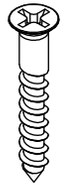
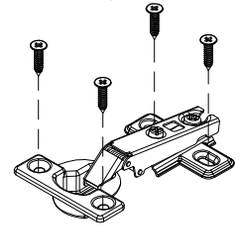
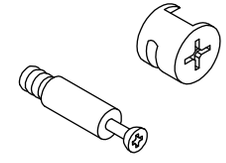
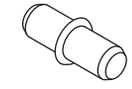
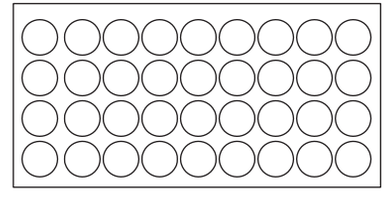
● 数量を確認しましょう。

①左側板 ×1 	②中板 ×1 	③右側板 ×1 	④補強背板 ×2 	⑤仕切り背板 ×1 	⑥仕切り前板 ×1 
⑦底板 ×1 	⑧脚 ×4	⑨中央脚 ×1	⑩背板 ×2	⑪天井板 ×1 	⑫縦仕切り板 ×5 
⑬横仕切り板 ×5 	⑭棚板 ×5 	⑮右開き扉 ×1 	⑯左開き扉 ×1	⑰穴あきディスプレイ棚 ×1 	⑱ディスプレイ棚 ×2 
⑲置き棚天板 ×2 	⑳置き棚側板 ×4				

MADE IN CHINA

付属部品一覧

● 数量を確認しましょう。

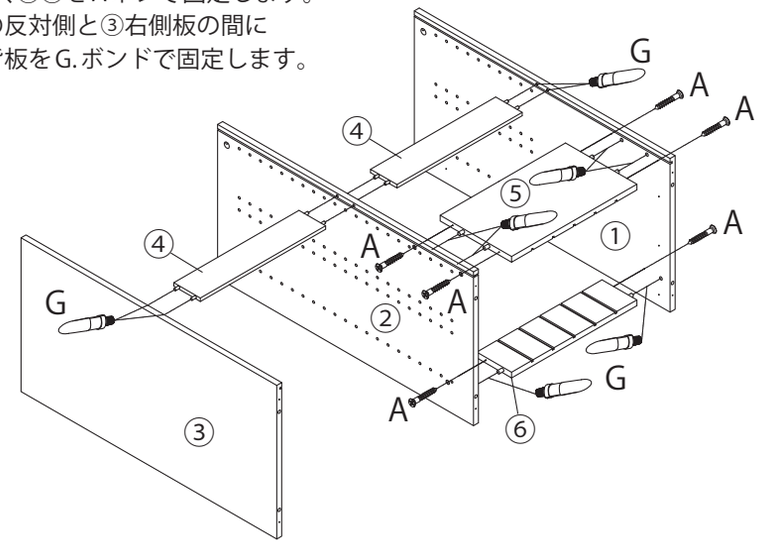
A. ネジ大 ×20 (予備 ×2) 	**B.** ネジ小 ×8 (予備 ×1)	**C.** ヒンジ ×6 専用ネジ ×24 (予備 ×2) 	**D.** カムロックボルト ×6 カムロック受け ×6 (予備 ×1) 	**E.** 棚ダボ ×20 (予備 ×2) 
F. 棚用バー ×4	**G.** ボンド ×1	**H.** ネジ穴隠しシール ×30 (予備 ×2) 		

ステップ 1

使用金具

A. ネジ大 ×6

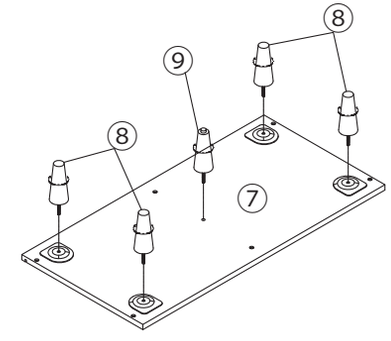
①左側板と②中板の間に、④補強背板・⑤仕切り背板・⑥仕切り前板を G. ボンドで取り付け、⑤⑥を A ネジで固定します。
②中板の反対側と③右側板の間に
④補強背板を G. ボンドで固定します。



ステップ 2

使用金具

⑦底板に、⑧脚・⑨中央脚を取り付けます。

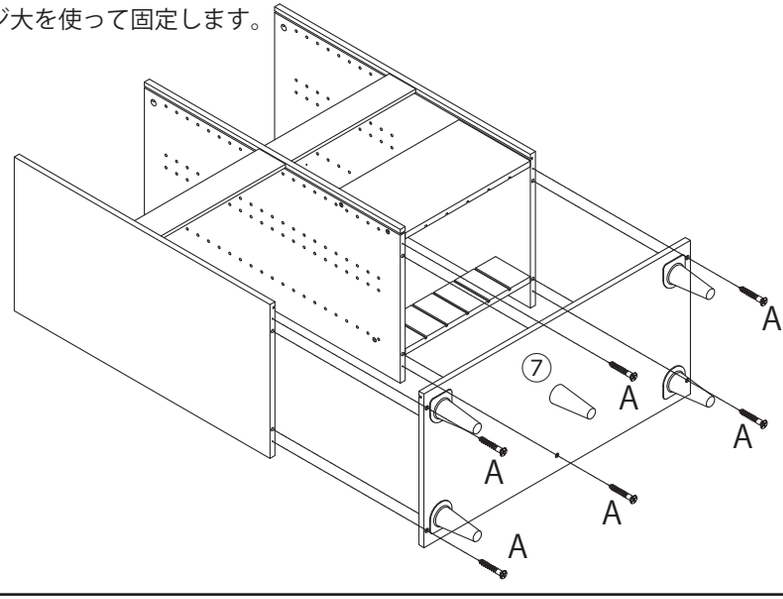


ステップ 3

使用金具

A. ネジ大 ×6

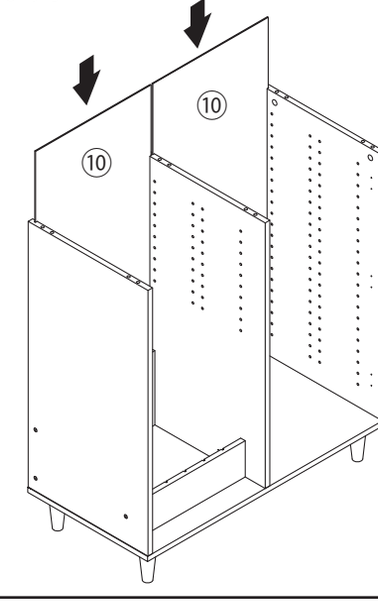
ステップ 1 で組み立てた側板に、ステップ 2 で組み立てた⑦底板を A. ネジ大を使って固定します。



ステップ 4

使用金具

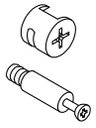
背面に⑩背板を差し込みます。



ステップ 5

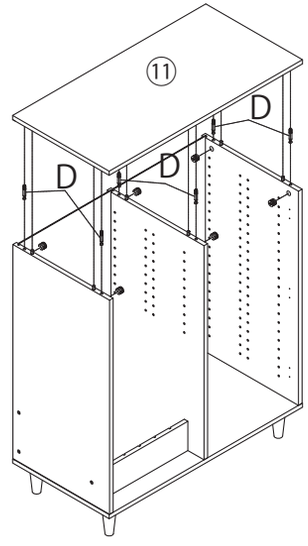
使用金具

D.
カムロックボルト
カムロック受け



× 6

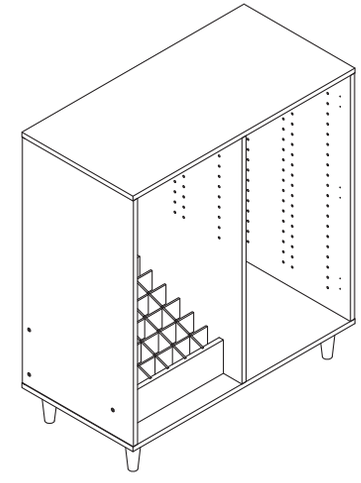
⑪天井板をD.カムロックボルト、カムロック受けを使って固定します。

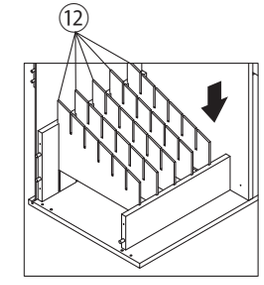


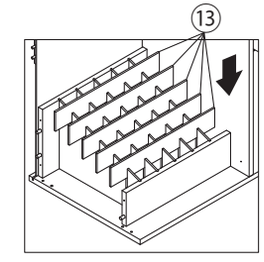
ステップ 6

使用金具

組み立てた本体内の仕切り背板と前板に、⑫縦仕切り板と⑬横仕切り板を差し込みます。







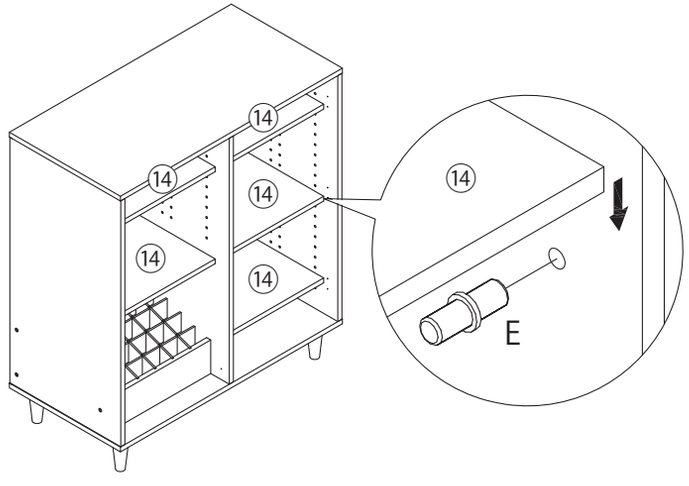
ステップ 7

使用金具

E. 棚ダボ

×20

⑭棚板をE.棚ダボを使って任意の箇所に取り付けます。



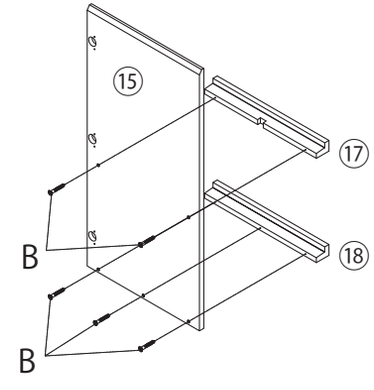
ステップ 8

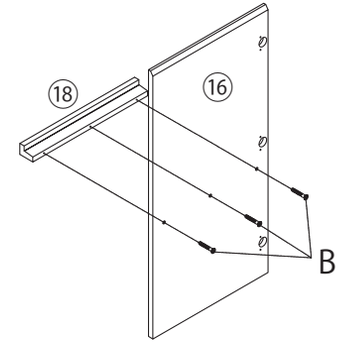
使用金具

B. ネジ小

×8

⑮右開き扉に⑰穴あきディスプレイ棚と⑱ディスプレイ棚を、
⑯左開き扉に⑱ディスプレイ棚を、B.ネジ小を使って取り付けます。





ステップ 9

使用金具

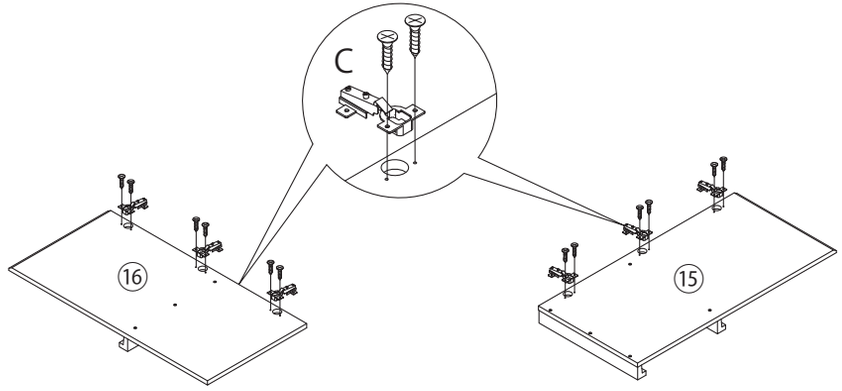
C. ヒンジ

×6

C. 専用ネジ

×12

ステップ 10 で組み立てた⑮右開き扉⑯左開き扉に C. ヒンジを、
専用ネジを使って取り付けます。



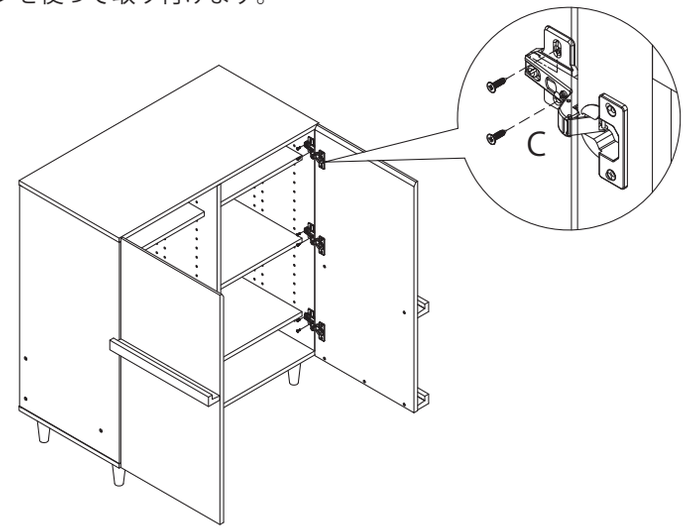
ステップ 10

使用金具

C. 専用ネジ

×12

キャビネットにステップ 9 で組み立てた⑮右開き扉⑯左開き扉を
C. 専用ネジを使って取り付けます。



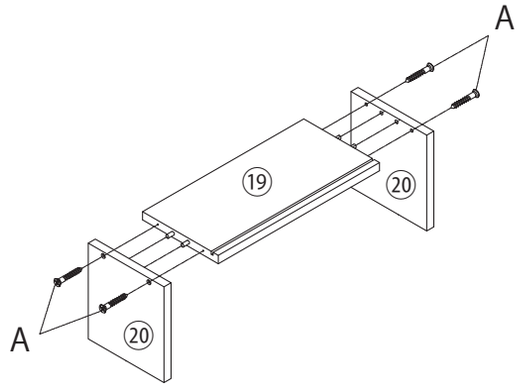
ステップ 11

使用金具

A. ネジ大

×4

⑲置き棚天板に⑳置き棚側板を A. ネジ大を使って固定します。



ステップ 12

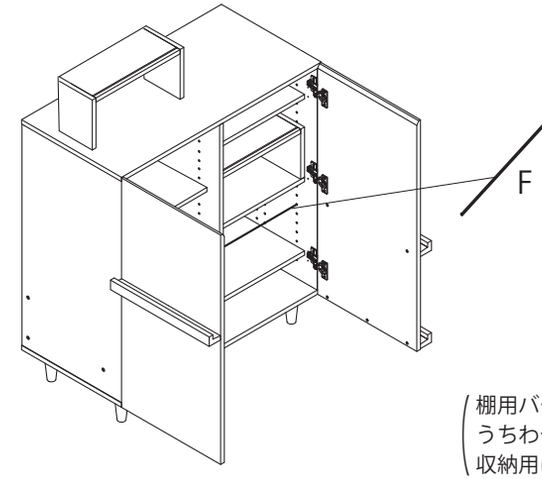
使用金具

F. 棚用バー

× 4

置き棚・棚用バーの使い方

ステップ 11 で組み立てた置き棚は、棚上または天板上に置いてお使い下さい。
F. 棚用バーは任意のダボ穴に両端を差し込んでご使用下さい。



（棚用バーは、
うちわやポスターなどの
収納用にお使いください。）

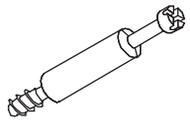
※必ず、組立前にご確認ください。

カムロックの取付について、簡単な手順をご紹介いたします。

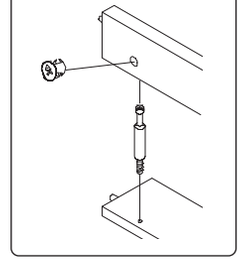
- ●カムロックを使用する商品は、個体差により組説の手順どおりだと取り付けにくい場合があります。
  作業前に下記の注意事項をご確認ください。
- ●個体により、受けを先に取り付けた状態だと受けが取付穴に沈みすぎ、ボルトの挿入が難しい場合があります。
  このような場合は、受けを取付穴最奥から少し浮かせることで、ボルトの挿入がしやすくなります。

ネジタイプのカムロックについて

「ボルト」の片側がネジになっているカムロックの取付手順を説明します。



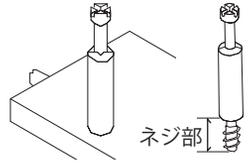
一般的な説明図



1．ボルトを板に取り付けます

ネジの締め具合に注意

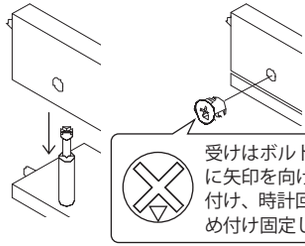
ネジ部が丁度隠れる程度が適切です。受けの取付が難しい場合は見直してください。



※締めすぎたり、緩すぎると次の工程が困難になる場合があります。

2．受けを取り付け、固定します

接続する板を、ボルトを取り付けた板と組み合わせ、次にカムロック受けを矢印の向きに注意して取り付け、固定します。



受けはボルトの向きに矢印を向けて取り付け、時計回りに締め付け固定します。

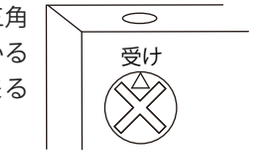
カムロックの基本

カムロックのパーツ

カムロックには「ボルト」と「受け」の２種類のパーツが存在します。

受けの取付向き

カムロック受けは、三角の目印が穴の開いている向き（ボルト側）に来るように取り付けます。



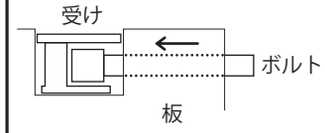
ご注意

※受けの矢印向きが違う場合、ボルトの挿入ができません。

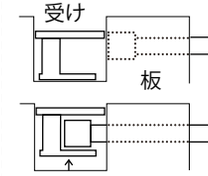
※受けには矢印のほかに、アルファベットなどが刻印されているものがあります。

受けにボルトを差し込む

受けにボルトを差し込みます。



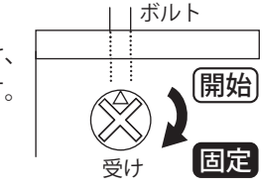
【受けが取付穴に沈みすぎる場合】



受けを少し穴の底から浮かせた状態でボルトを差し込みます。

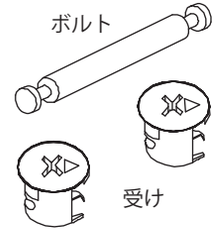
締め方

カムロック受けを時計回りに締め付け、しっかり固定します。

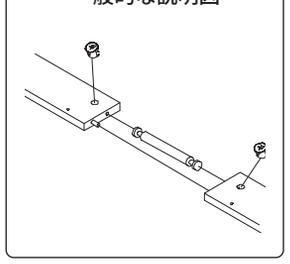


双頭カムロックについて

「受け」を２つ使用するカムロックの取付手順を説明します。

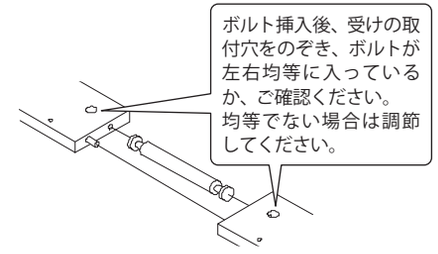


一般的な説明図



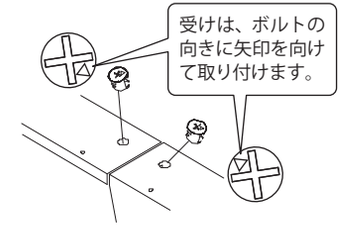
1．ボルトを板に取り付けます

接続する２枚の板に図のようにボルトを差し込みます。



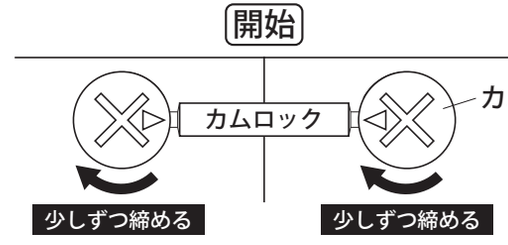
2．受けを取り付けます

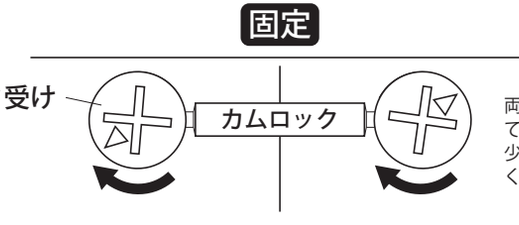
次にカムロック受けを矢印の向きに注意して取り付けます。



3．カムロックを固定します

片方を先に締めきってしまうと、反対側のボルトの頭がカムロック受けに、上手く噛み合わない場合があります。
必ず両側が噛み合っていることを確認しながら、左右交互に締めてください。





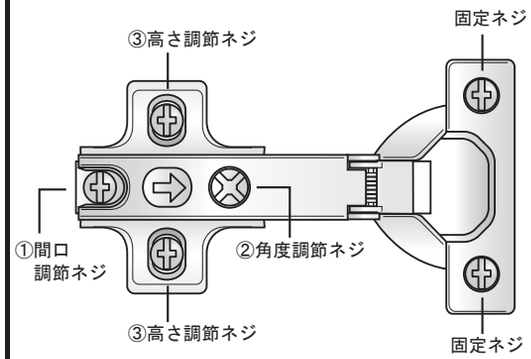
両側がしっかりと噛み合っていることを確認しながら、少しずつ左右交互に締めてください。

◆ ドアヒンジの調整方法

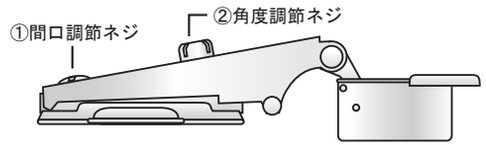
本体と扉をヒンジで取り付けた際に、扉が傾いたりずれていたりする場合は、ヒンジについている各種ネジを調整することで、扉を美しく取り付ける事ができます。
調節するのが「間口調節ネジ」「角度調節ネジ」「高さ調節ネジ」の 3 箇所です。
この 3 箇所を調節し、キレイに扉を取り付けられるコツをご紹介いたします。

■ヒンジの詳細

ヒンジの各部位を紹介いたします。主に調節するのが
①「間口調節ネジ」②「角度調節ネジ」③「高さ調節ネジ」の 3 箇所です。



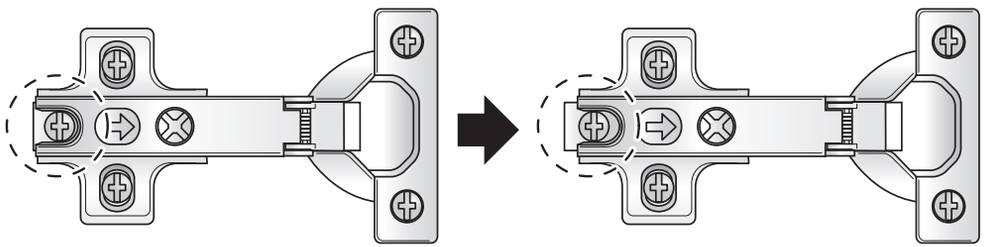
ヒンジ：上面図



ヒンジ：側面図

① 間口調節ネジ…扉同士の隙間を調節します。

まずは「間口調節ネジ」からご説明いたします。「間口調節ネジ」は扉と本体の間隔を調節する部分です。
ヒンジを扉に取り付ける前に、事前に「間口調節ネジ」をゆるめて、スライド部分を約 3㎜ ほど出してネジを締めます。
このスライド部分の出ている幅が広ければ広いほど扉と本体の間隔が拡がり、逆に扉と扉の隙間が狭くなってしまいます。

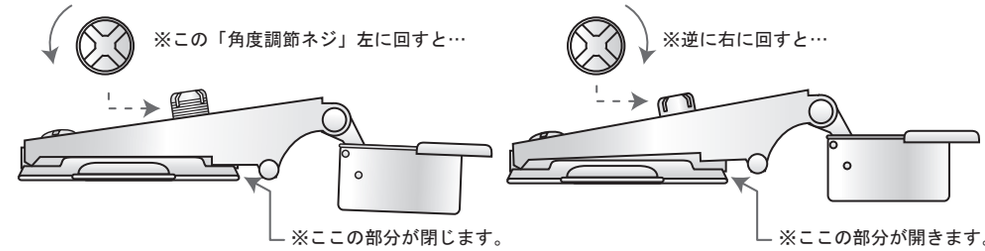


出す前　　出した後

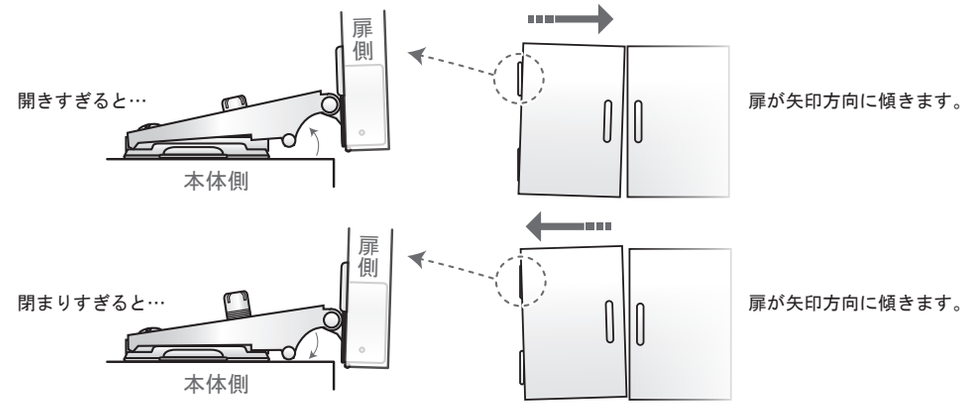
扉を本体に取り付けた後、扉を開閉してみて扉と本体の間隔、扉同士の間隔をご確認ください。
先ほど出した約 3㎜ が丁度いい間隔の目安になりますが、もし開閉の際、扉の端が本体に当たったり、
扉同士がぶつかったりするようでしたら、再度「間口調節ネジ」を緩めて微調節してください。

② 角度調節ネジ…扉の角度を調節します。

続けて「角度調節ネジ」をご説明いたします。「角度調節ネジ」は扉の角度を調節する部分です。



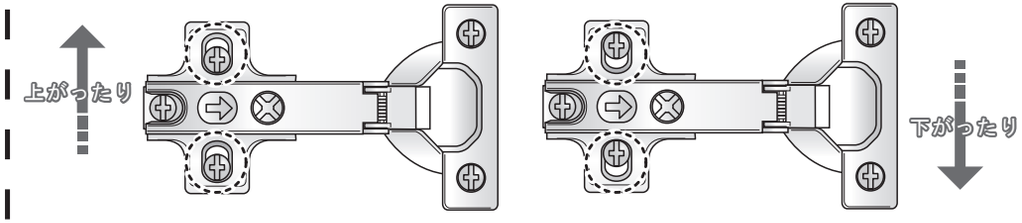
つまり、この角度調整ネジを回すことで扉の角度を調整できるわけですが…、



ヒンジは通常上下 2 つで 1 セットなので、「角度調節ネジ」を回すときは、上下のヒンジを合わせる必要があります。
片方だけ角度が違うと扉の傾きの原因になりますので、扉の傾きが気になる時は、ネジの回転数（1 回転、2 回転…）
を上下であわせて、ヒンジの角度を同じにしてあげる事で、扉をまっすぐ取り付けることができます。

③ 高さ調節ネジ…扉の高さを調節します。

最後に「高さ調節ネジ」をご説明いたします。「高さ調節ネジ」は扉自体の上下の位置を調節する部分です。



左右の扉の高さが違う場合は、この「高さ調節ネジ」を少し緩めて扉の上下の位置を調整し、。
丁度いい高さのところで改めてネジを締め付けて下さい。

以上のことをふまえて調節することで、キレイに扉を取り付ける事ができます！
少しお手間はかかりますが、ぜひこれらを参考にチャレンジしてみて下さい！

木製家具類の使用上注意

●安全にご利用いただくため、この『 使用上注意 』とその他の説明がある場合は、合わせてよくお読みになり保管してください。

●組立て及び取り付けは『 組立説明書 』に従い、確実に行ってください。組立不良・取り付け不良の場合、破損、転落、落下などで怪我の原因となる恐れがあります。

家具の置き方

■地震で家具が倒れ、怪我をすることがありますので、建物の柱・床・天井等に固定用金具や固定用部材でしっかり固定してください。又、家具の上に物を置きますと落下して怪我をする事がありますので、置く物や置き方にご注意ください。
転倒防止補助金具や吊戸棚の取り付け金具は、必ず家具の心材のある所、壁も心材のある所か、柱等のしっかりした木部に金具をネジで確実にしめて取り付け、家具が倒れないか落ちないか確認の上ご使用ください。取り付け不良の場合、転倒や落下による怪我の原因になります。

■高温・多湿の部屋では、空気が滞留すると、カビやダニが発生しやすくなり健康を害することがあります。家具の据え付けにあたっても、空気が流れるよう壁から少し離したり (10cm 位が望ましい) 部屋の換気をしてください。

■直射日光や熱、冷暖房器の風などが直接当たらないようにしてください。変形・変色や加熱による火災の原因になります。

■家具は水平を保つように置いてください。不安定なまま使用しますと、扉の開閉や引き出しの出入れがスムーズでなかったり、イスの強度が低下し家具が破損したり転倒したりして怪我の原因になります。

ご使用にあたって

■家具の上に立ったり、飛んだり、踏み台代わりに使用したり、不安定な姿勢で腰掛けたりしないでください。安定をくずし倒れたり、壊れたりして怪我をする事があります。

■扉・ハンガー・引き出しや引手・スライド棚等にぶら下がったり、上に乗ったり、腰掛けたり、中に入って遊んだり、無理な力で引っ張ったりしないでください。家具が壊れて怪我をすることがあります。

■キャスター (移動用小車) 付きの場合は、その上に立ったり、座ったまま激しく動かしたり、押して遊んだりしないでください。倒れて怪我をしたり、ほかの物をこわしたりする事があります。

■引き出しが付いている場合、これをいっぱいに引き出すとぬけ落ちて怪我をする事があります。特に乳幼児だけでの取り扱いはやめさせてください。

■扉を開閉する場合は、チョウバン等によって家具本体と扉に隙間が生じる事があります。そのとき身体の一部を挟んで怪我をしたり、衣類を破損したりする事があります。又、引き出しに衣類等を収納する場合は、中棚等とのすき間をあけてください。衣類等に木くずが付いたり、破損したりする事があります。

■家具の裏側等、化粧板などを使用していない部分を素手で触ると木くず等で怪我をする場合もあります。

■木材の接着剤等 (ホルムアルデヒド) が残っている家具で、肌の弱い人は、アレルギー症状をおこす場合がありますので、換気を充分にして取り除くようにしてください。特に乳幼児の衣類を収納される場合は気をつけてください。

■取り外しのできる棚は、棚受具を確実に取り付けてください。中途半端な取り付けでは棚板がはずれて物が落ち、破損や怪我をする事があります。

■家具を移動するときは、落ちたり倒したりして物を壊したり、怪我をすることがないように手でしっかりと持って、水平を保って運んでください。家具をさかさまにしたり横にして運ぶと部品や部材がはずれ、落下して破損や怪我の原因になります。
家具を移動するときは、家具の本体を持ち、(引き出し等を持つと破損の原因にもなります) 収納物や外れる部品、部材は全て外して運んでください。又、完全に持上げて移動してください。床等を破損したりする恐れがあります。

■ガラス製品の近くで物を投げたり、はねたりして遊ばないでください。ガラスが割れて怪我の原因になります。

■家具本体の角や扉、引き出しの角には身体をぶつけないようにご注意ください。

■家具に取り付けて使用する照明器具やコンセントは電源電圧 (交流 100 ボルト) 以外の電圧で使用しないでください。感電や火災の原因になります。

■家具に取り付けて使用するコンセントの使用限度は、製品ごとに定められています。使用する家電製品の定格消費力のワット (W) 数の合計が製品並びに説明書に表示されたワット (W) 数以下となることを確かめてから使用してください。ワット (W) 数の合計が超えた場合、ヒューズがあるものはヒューズが使用できなくなりますが、ヒューズがないものは発熱、火災の原因になります。

保守・点検

■チョウバンや脚部取付け金具・組立てビス等の固定用ネジ類がゆるんでいないか定期的に点検し、ゆるみはじめたらしっかりしめ直してください。ゆるんだまま使用していますと、家具が破損して怪我をする事があります。

■虫害を発見した場合は、直ちに殺虫や防虫処理をしてください。他から虫が入ったことも考えられますので、放置すると拡大する恐れがあります。